

旭南部まちづくりだより

こじゃんち

旭

第5号

私たち旭南部コミュニティ計画推進市民会議は、旭南部をより良くしていくために『いきいき旭』を合言葉に「みんなで支えあう 心ふれあう まちづくり」の推進に向けて、現在もコツコツ活動中です。今回の広報紙では令和7年度の会員の活動を紹介させていただきます！

会長あいさつ

日頃より旭南部コミュニティ計画推進市民会議の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

旭地区のランドマークであり、住民に愛されてきたイオン高知旭町店の閉店からはや1年が経過いたしました。新店舗への期待は膨らみますが、買い物の場であると同時に、地域の皆さまが日常的に立ち寄り、交流し、毎日の暮らしを支えてきた大切な拠点が失われたことで、生活の中にさまざまな不便や課題が生じているのではないかと懸念いたします。

地域でできる事は何かを模索し、もがきながら令和7年度は2回のまちづくりワークショップを実施。直近ではイオン高知旭町店閉店後の困りごと解決に特化したワークショップも開催いたしました。

多くのご意見とお知恵を頂き、改めて、地域の現状をみんなで共有し合う大切さを感じております。

地域を取り巻く環境が変化する今だからこそ、できることを一つずつ積み重ね、世代を超えて支えあう旭らしい温かなまちづくりをみんなで進めていければと思います。

今後とも皆さま方のご理解・ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



会長 大石 健司

まちづくりワークショップを開催しました

旭南部コミュニティ計画推進市民会議では、地域の皆さまとともにまちづくりワークショップを開催しました。世代や立場を超えて素直に意見を交わす中で、旭南部地域が直面する課題が具体的な形として整理され「見える化」することができました。

第2回まちづくりワークショップ 旭らしく、みんなあて考えてみん？

旭地域の最前線で活動する33名もの方々(高校生含む)にご参加いただきました。

今回はじめてワールドカフェ方式でワークショップを行い、世代の枠・組織の枠を超えて、旭らしくざっくばらんに、また熱く語り合う場となりました。

その結果、旭南部地域が直面する5つの課題が明確になり、課題解決に向けた足がかりをつかむことが出来ました。

第3回まちづくりワークショップ 旭のピンチ!? みんなあ困ってない?

イオン高知旭町店閉店後はやくも1年が経過しました。

地域の方、64名が集まり、買い物や移動、居場所づくりなど様々な課題や困りごとを改めて具体的に共有しました。解決に向けてみんなの知恵を持ち寄る有意義な場となりました。

課題が明確になった今、ここからが本当のスタートです。地域の皆さまと共に、できる事から一つずつ取組みを重ねてまいります。

<<旭南部地域の5つの課題>>

- ①地域活動の担い手不足
- ②イオン高知旭町店の期間未定休業に伴い発生する課題
- ③地域団体同士の連携・協力不足
- ④地域活動における資金・相談先・活動場所がわかりにくい
- ⑤本宮川の水無し川問題



旭南部コミュニティ計画推進市民会議の活動紹介

コミュニティ計画推進市民会議とは

コミュニティ計画推進市民会議とは、地域ごとに策定されたコミュニティ計画（地域の魅力や課題など、地域の想いがまとめられた地域ごとの計画）を推進している地域組織のことです。

昭和44年の地方自治法の改正により、市町村における総合的・計画的な行政運営を実施するために施策の大綱を定める基本構想の策定が義務付けられ、都市計画を始めとする様々な行政計画や実施計画の基礎が検討されました。本市をはじめ多くの自治体において、市民意識の向上・市民参加に対する認識が深まっていたことから、市民の意思を施策に反映させる取組が試行されました。

コミュニティ計画（案）の作成に当たっては、各地区町内会連合会の協力を得て、地区毎に全戸配布し、地域住民の方の一般公募により組織された「コミュニティ計画策定市民会議」と行政職員が一緒になって、1年から1年半の期間をかけて作業を行い、平成6年度から平成21年度までで、概ね小学校区を単位とした28地区で計画（案）が作成され、市に提案されました。

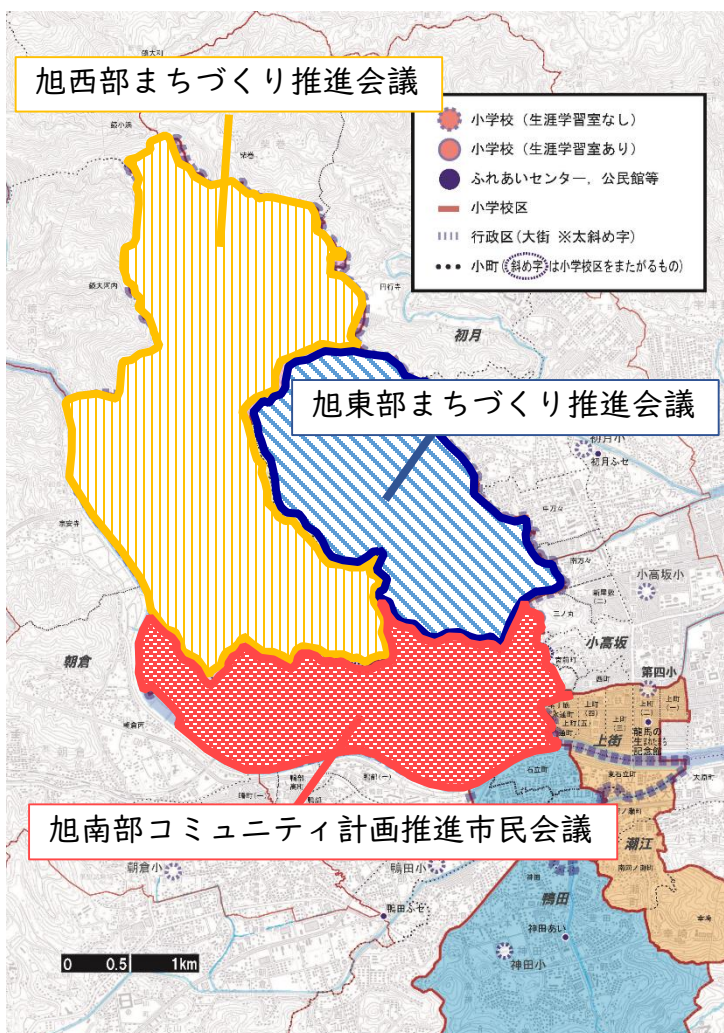
計画策定の基本原則として、市民会議は市民の主体的な参加と会員相互の「話し合い」によって計画づくりや推進を進めるものとし、高知市は事務局として裏方に徹することとしていました。

各地区から提案されたコミュニティ計画（案）を基に、高知市はコミュニティ計画を策定し、市長が各地区に出向いて地域住民と対話する「わがまち・ふれあいトーク」を通じて、地域と計画の共有を行いました。

旭地区では、3つのコミュニティ計画が策定されており、その計画を推進するコミュニティ計画推進市民会議が3つ設立されています。

私たちは、この3つの団体のうち旭南部地区を対象に活動をしている団体です。

主な活動として以下の3つに取り組んでいます。詳細は次ページをご参照ください。



環境美化啓発看板の絵の掲示



地元の小学校に協力していただき、児童が描いた環境美化啓発の絵を平成13年から川沿いの掲示板に毎月掲示しています（13か所）。

まちづくり交流会「旭の日」・ワークショップ



地域内のつながりを深め、地域団体の活動を知り、地域課題を解決することを目的として開催している交流会やワークショップです。

旭南部まちづくりだより「こじゃんち旭」



地域にお住まいの皆様にご覧いただくために、広報紙を発行しています。今年度は2回発行しました。



まちづくり交流会「旭の日」

旭地区の歴史を振り返り、旭のまちづくりについて考える交流会を「旭の日」と題し、令和7年11月16日（日）に開催しました。

当日は、約90人もの参加があり、第1部では宇都宮教授（地域教育研究センター長）に、昭和初期からの旭の産業や街並みなど、旭にまつわる歴史や特色についてご講演いただきました。

講演の後は、高知県立大学の学生で結成された『チーム旭』の研究発表があり、会場いっぱい温かい拍手が響きました。

第2部の旭ざっくばらんカフェでは、旭地区が大好きな皆で旭についてたくさんお話ししました！最後には「旭まちなみ音頭」を踊り、笑顔いっぱいの楽しい1日となりました。

多くの皆様にご参加・ご協力いただき、本当にありがとうございました。



まちづくりワークショップ



旭地区のまちづくりについて再度考える機会を作りたいと思い、まちづくり活動の中心にいる皆様を対象とした「まちづくりワークショップ」を令和7年6月29日（日）、令和8年3月8日（日）の2回開催しました。

今回のワークショップで出た意見を次回のワークショップでさらに内容を深めて話し合いたいと思います。



環境美化啓発看板の設置

旭南部コミュニティ計画推進市民会議では、平成13年から鏡川と江ノロ川の清流保全のために、環境美化啓発看板を13カ所設置し、毎月地区の小学生(旭小学校・旭東小学校・高知小学校)が描いてくれた絵を掲載する活動を継続しています。

お近くをお通りの際は、ぜひ子ども達の絵をご覧になってください。

いつまでも美しい川、人々が集う憩いの川として、これからも清流を守り続け、次世代に受け継いでいきたいものです。

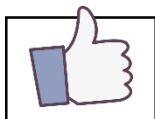
環境美化啓発看板の絵をご存じですか？
毎月傑作ぞろいで地域の皆さんの間で話題です！
ぜひ見に行ってください！！



川を大切に～子ども達からのメッセージ～

【環境美化啓発看板 設置箇所】

米田橋そば・上本宮町・鏡川堰そば・鏡川橋そば・
廊中堰そば・トリム公園・縄手町・玉水町・
旭上町(蛸橋郵便局前)・旭東小学校門内・
高知小学校入口前・井口町(永福寺前)・
井口町(高知いちよう病院北側)



旭校区青少年育成協議会

1年生とむかしあそび

市川 月子

旭小学校1年生・老人クラブ・旭校区青少年育成協議会の方々とむかしあそびを楽しみました。しばきごま・木ごま・けん玉・お手玉・あやとり・坊主めくり。1年生全員で全ての遊びに挑戦です。木ごまの紐を巻くのに苦戦、お手玉はボール投げ、最近の手あそびはゲームかな？と思いました。

一番盛り上がっていたのは坊主めくり。百人一首の絵の方を使ってあそびます。たくさん札を持っていても坊主が出ると取り上げられ、札は全部没収。手元に札をたくさん持っている人が勝ちというゲーム。覚えると簡単で輪になって盛り上がっていました。

私たちは少しでも、昔あそんでいた物に興味を持ってもらったらいいなと思っています。



旭小学校PTA

きららフェスティバル

神保 美枝



今年度も旭小最大のイベント「きららフェスティバル」が開催されました。

昨年度に引き続き防災イベントとコラボし、今回は吹奏楽部のオープニングセレモニーから始まり児童、PTA、地域の方が一体となって大盛況のうちに終了しました。

各ブースでゲットするスタンプラリーではスタンプを必死で探す子どもたち。1つは会長の私を持っていてフェスティバル終了間際に私の周りに人だかりができ、子どもたちの笑顔があふれました。

全部集められなくて悔しかった子どもたちもいましたが、また来年度も楽しみにしててください。

かみほんグー会

クリスマス会

三橋 満美

私達は「かみほんグー会」です。上本宮町周辺の子どもと大人で結成しました。

2025年は、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会と子どもたちがやりたい事を実現してきました。特にクリスマス会は今年初めての催しでしたが、子どもたちが考えたゲームをしたり、クリスマスソングを歌ったりして楽しみました。皆で作った軽食を食べておしゃべりしました。イルミネーション点灯もして町がちょっとだけキラキラしました✦

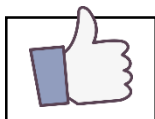
春は桜、夏はホタル、秋は銀杏、冬はイルミネーションの上本宮町に来てみたくなりましたか？

仲間も募集中です。子どもたちが地域を好きになる「アイデア」を一緒に実現しませんか？



公式LINEはこちらから





ふる里の川 本宮川を取りもどす会

本宮川ブルーサタごみ拾い

大石 健司

令和7年11月30日（日）、第6回本宮川ブルーサタごみ拾いを旭小児童・地域の皆様合わせて40名の参加で実施しました。旭校区青少年育成協議会さまとの合同開催です。

青いサタ姿でみんなで楽しみ協力しながら川底ゴミを拾い、本宮川に生息するカワニナなどの生き物観察も同時に実施。

子どもたちは、地域の為に役立った達成感で誇り高い笑顔で帰路につき、環境美化意識の向上と世代間交流の貴重な場となりました。



環境フォーラムにて取組み発表

大石 健司



令和8年2月21日（土）に、高知県主催の環境フォーラムにて『子どもたちとの絆がホタルの川を未来につなぐ』と題し、子どもたちと共に続けてきた6年間の取組みを発表しました。

地域の先輩方が残してくれたホタル飛ぶ本宮川の身近な自然環境を次世代につなぐ思いを共有すると共に、県内各地の「森と水のめぐみ」を守る先進事例から多くの学びを得る機会となりました。

これまで支えて頂いた、地域の皆様・関係団体様に心より感謝申し上げます。

井口東町平和町町内会

町内防災訓練に78名

茨木 憲二

令和7年3月30日（日）に、町内防災訓練を実施しました。

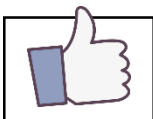
町内でふれあいの活動がなくなる中、花見を兼ねた親睦会の提案があり、どうせやるなら町内に新しく加入した若いご家族の参加も呼びかけるため、防災訓練も合わせて実施することとなりました。

花見も兼ねて実施するため、参加者の事前登録をお願いし昼食を準備。当日は、78名（大人65人、小学生6人、幼児等7人）の申し込みがあり、消火栓や水消火器を使用した消火訓練、心肺蘇生とAEDの応急手当、町内防災倉庫に保管する担架や救護資材の使用法などの各コーナーで熱心な訓練が行われました。

特に、消火栓を使った消火訓練では、消火ホースのつなぎ方や放水時の注意点等を消防士の方から伺い、放水体験も行いました。

町内の消火栓は、旭消防団の小谷元団長の進言があり、消火栓の接続位置を高くするとともに、消火ホースを通常の50mmから25mmの小径のものに変更しており、高齢者や女性が一人でも筒先を保持でき、消防士の指導のもと、子どもたちにも体験してもらいました。





旭小学校

3年生「本宮川ホタルこいこい大作戦！」

3年生の地域での学習を紹介します。

1学期、学校前の本宮川を学びの場とし、外部講師や地域の方々に来ていただいて生き物調査を行いました。子どもたちは、これまで気にも留めていなかった川での学習に目を輝かせ、様々な生き物を見ました。その後、見つけた水生生物や植物から生き物マップを作成し、「わたしの自然観察路コントロール」で、優秀賞を受賞することができました。

2学期には本宮川に生息するホタルについても学び、子どもたちはさらに本宮川を大切にしたいという思いを高め、「冬のブルーサンタごみ拾い」には、たくさん子どもたちが自主的に参加しました。

このような活動を通して、子どもたちは、本宮川を大切に守り続けたいという気持ちをもつとともに、自慢できる川がある旭を愛する気持ちを高めました。地域の方々の努力があって今のきれいな本宮川があることにも気づきました。今後、3学期に作成したリーフレットを地域の方々に配布し、きれいな本宮川と一緒に守っていきたいと考えています。



旭東小学校

冬の縁日 ～保護者や地域の方々に支えられて～

令和8年1月17日（土）に体育館で「冬の縁日」を開催しました。

この行事は、子どもたちに楽しんでもらえる行事を、ということで学校とPTAが協力し3年前から始まったものです。

当日、子どもたちは的当てやくじ引き等のコーナーを自由に回りながらニコニコ顔でした。コーナーでのお世話は、保護者の方にご協力いただくとともに、高知みらい科学館の方や青少協の方々には、ものづくりコーナーでお世話になりました。お世話いただいた皆さんありがとうございました。

おかげさまで子どもたちは楽しい時間を過ごすことができました。今後も、保護者の皆さんや地域の方々のご支援をいただきながら子どもたちの健全育成に努めてまいります。



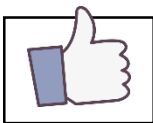
高知小学校

高知学園 高知小学校



高知小学校は「まごころをつらぬく子ども」「紳士・淑女」を育てることを教育方針に掲げ、一人一人の個性を大切にされた教育を進めています。また本年度は特に、アンパンマンの作者やなせたかし先生が、高知学園の名誉学園長であることに寄せて、「人生はよろこばせごっこが一番」という言葉を大切にしています。

旭地区の皆様には、日頃より交通指導や温かな子どもの見守り・お声がけをしていただき、心より感謝申し上げます。教職員一同、皆様の地域に寄せる熱い想いやぬくもりを感じつつ、旭の地にある学校として、ともに発展できればと考えています。今後ともどうかよろしくお祈りします。



高知特別支援学校

地域における教育活動

本校では、近隣地域の皆様の御理解・御協力を得ながら教育活動に取り組んでいます。

中学部では、旭西部公民館や長尾山東公民館、本宮町公園の美化・整備や、ソフトウェア団地（協議会）内の植栽美化活動に取り組んでいます。また、防災学習として、学校に設置してある「防災かまどベンチ」を使つての炊き出しや、マンホールトイレの設営訓練などを行っています。

夏には、高等部と中学部が合同で、木村会館において「市特市（しっとくいち）」を開催しています。両部の授業である「作業学習」の製品を、生徒がお客様との対面形式で販売しています。

地域の御理解・御協力の下で、皆さんに少しでもお役に立てる、喜んでいただける活動を目指しています。

植栽帯の整備・美化活動



マンホールトイレの設営訓練



木村会館での「市特市」



旭っ子記者クラブ



ふらっと寄って笑顔に会える場所

小松 ますみ

旭っ子記者クラブは、昨年5月から元町のふらっと旭さんをお借りし、子どもたちが気軽に集い、お菓子を楽しんだり会話や遊びを通じて交流できる駄菓子屋づくりに取り組んでいます。

近隣の大人の方々も立ち寄ってくださるため、羊羹やお酒のおつまみにもなる駄菓子をそろえ、世代を超えた憩いの場として親しまれています。

活動では、イオン最終日やさつき祭、旭やるかい祭りで地域の皆さんとともに「旭まちなみ音頭」を披露し、各種イベントには駄菓子屋として出店しました。

10月には「ハロウィン旭」を開催し、防災意識を高める設問をラリー形式で設置。参加者とともに旭の防災について考える機会となりました。

旭っ子記者クラブは、子どもが地域で、地域のためにできることを主体的に考えながら、活動を続けてまいります。これからも温かいご支援をお願いいたします。



駄菓子屋出店



ハロウィン旭

メンバーと取材先 絶賛募集中！

メンバー・大人サポーター・取材先の申込みは、ブログと電話で受付けています。

- 対象：メンバーは小学生～高校生
大人サポーターは18歳以上
- 問合せ先：080-2989-3634（小松）



旭やるかい

旭やるかい

旭やるかい祭

高橋 健

イオンがないなる！どうしたらえいがな！旭小学校があるやいか！

祭りぜよ、今年もやるぜよ！と毎年恒例の「旭やるかい祭2025」を開催することが出来ました。

皆お待ちかねの「旭レンジャーショー」や旭小学校5年生の「防災替え歌」などステージは大盛り上がり。出演者も観客も一体となって「旭街並み音頭」を踊りました。

出店ブースでは、初出店の「シフォンケーキ」が大人気。お馴染み「健康チェック」で旭の健康守ります！

来てくれた人、出演・出店してくれた人ありがとう。また来てよ。来なかった君！来年もやるぜよ！



絶賛募集中！！

旭南部コミュニティ計画推進市民会議に興味のある方や加入希望の方、広報誌に掲載したい記事を募集しています！以下の連絡先までお気軽にご連絡ください！



【編集・発行】 旭南部コミュニティ計画推進市民会議

【連絡先】 旭南部コミュニティ計画推進市民会議 事務局
高知市地域コミュニティ推進課（林 架帆）

〒780-8571 高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市役所たかじょう庁舎2階

TEL 088-823-9080 FAX 088-824-9794 E-mail kc-102000@city.kochi.lg.jp



Instagram



@ASAHI_NANBU